年度末報告書（実行団体）

● 提　　出　　日　：　令和４年４月 11 日

● 事　　業　　名　：　**息の長い支援基盤整備事業**

● 資金分配団体　：　更生保護法人日本更生保護事業協会

● 実　行　団　体　：　更生保護法人滋賀県更生保護事業協会

● 新型コロナウイルス対応緊急支援助成（通常枠での追加助成）の有無　：　☑有　☐無

①　実績値

【資金支援】

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況＊
１　モデル地区の更生保護団体が、「生きづらさを抱えた人達」を支援するための活動（基盤整備を含む）に取り組む。	①モデル地区の活動回数	①１年目１２回（１地区年４回×３地区） ２年目２４回（同上×６地区） ３年目２８回（同上×７地区） ②すべてのモデル地区が直接支援につながる活動に取組むようになる	2023.3	① １年目 彦根：５６回（うち直接支援２回） 守山:４回（うち直接支援１回） 高島:８回（うち直接支援６回。うちコロナで２回中止） 大津０回（年度末にモデル地区に選定したため活動なし） ２年目 彦根:３５回（うち直接支援３５回。うちコロナで４回中止）。 守山：４回（うち直接支援０回） 高島：８回（うち直接支援８回コロナで中止２回） 大津：６回（うち直接支援６回） 近江八幡：20 回（うち直接支援０回）	1

				② １年目･･･４モデル地区中、３モデル地区が直接支援に携わった。 ２年目･･･５モデル地区中に３モデル地区が直接支援に携わった。	
２　モデル地区の更生保護団体に対し、協会から伴走支援、困りごとへの対応など、活動を支え、充実させるための働き掛けが行われる	①モデル地区保護司会との意見交換会・協議会等の回数 ②モデル地区から活動や運営などの相談が寄せられるような関係性になっているか	①各年度２回以上 ②モデル地区保護司会から、活動や運営上の悩み事や課題などについて、気軽に相談を寄せてもらえる関係になっている（相談の具体的な内容とその対応が挙げられる）	2023.3	１年目 ①モデル地区との会議回数：２回 ②モデル地区からの相談対応：年度当初や年度末等随時、実施。 ２年目 ①モデル地区との会議回数：２回 ②モデル地区からの相談対応：予算やその執行に関する相談は年度当初や年度末を中心に対応している他、近江八幡から協力雇用主会総会への当協会の参加要請があった際も対応した。コロナ禍につき、モデル地区とは電話、メール、WEB 等で連絡を取り、事業の進捗や課題を随時、把握しているが、合間を見て当協会職員が各モデル地区に足を運んでの活動支援等も実施した。	2
３「生きづらさを抱えた人達」を支援するための基盤整備に取り組もうとする更生保護団体地区（モデル地区）を掘り起こす。	①モデル地区を掘り起こすための事業協会の活動数	①更生保護関係者向けの本事業の説明会のため、全保護区の更生保護団体を９回／年以上、訪問する。	2023.3	１年目：全９保護司会に対し説明に訪問。そのほか伝道師を４回保護区へ派遣（参加者４８人）。 ２年目：甲賀地区保護司会と社会福祉協議会に説明の訪問をした。	3

４　県内の更生保護関係者に対し、「生きづらさ」への理解、「息の長い支援」の必要性等が促進されるよう必要なスキル、ノウハウを習得する機会を提供する。	更生保護関係者全体に向けての「生きづらさ」の理解促進や支援スキル、ノウハウ向上に資する活動回数	年間１回以上（３年間で３回以上）	2023.3	１年目：更生保護女性連盟会員向け「生きづらさを抱えた人の息の長い支援」についての理解促進のための中堅研修会で映画会実施。 ２年目：　更生保護女性会員向けリーダー研修会において、「生きづらさを抱えた人」の支援理解と県民への広報に関する研修を実施。	3
５　滋賀県内の各市町関係者及び県民の更生保護への理解が深まる状態になる。	事業協会による県民向けの更生保護への理解促進のための活動回数 （息の長い支援活動パネルの掲出活動等）。	年１回以上（３年間で３回以上）	2023.3	１年目：広報誌等。R2 年度報告で報告済。 ２年目：事業協会が滋賀県の協力を得て、県民フォーラムを youtube で実施し（視聴回数７６７回）、モデル地区の取組や更生保護について広報した他、例年県更生保護女性連盟が開催し各地で実施している県民向け一般公開ケース研究会にて、更生保護の周知の一環として「生きづらさを抱えた人達」をテーマに川柳募集を行った。約２，０００句の応募があった他、県知事、５市町の首長からも句が寄せられた。優秀作品賞は日めくりカレンダーとして広報に活用（県内の幼稚園小学校等へ配布）。 　その他、当協会が本事業広報のために作成したスタンドパネルを用い、モデル地区彦根で支援対象者と共にパネル展を１週間実施した。同パネルについては、地元金融機関の協力を得て、令和３年度から４年度にかけ各支店で順次、掲出されているところである。	1

＊進捗状況：1 計画より進んでいる 、2 計画どおり進んでいる 、3 計画より遅れている、4 その他

② **事業進捗に関する報告**

1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み
2.概ね達成の見込み
2.アウトカムの状況
A：変更項目 ☑変更なし　☐短期アウトカムの内容　☐短期アウトカムの表現　　☐短期アウトカムの指標　☐アウトカムの目標値
3. 活動に関する報告
アウトカム１「被支援者への直接的支援を始めたモデル地区の数と継続的支援」 新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、モデル地区数は伸び悩んでいるが、現在の５つのモデル地区のうち直接支援に取り組む３地区は、感染防止に配慮し、実施形態を工夫しながら活動を行った結果、目標どおりか、それを大幅に上回る実績が認められた。これらの地区では、被支援者の継続的な参加も一定数、確保されており、被支援者にとって事業が「大切な居場所」となりつつあることが窺える。一方、残り２地区は、協力雇用主会との連携による就労支援を想定した活動であるが、新型コロナウイルス感染拡大の煽りを受けた雇用主が少なからず存在していることや求職者と事業所とのマッチングの問題、更生保護就労支援事業とモデル地区の事業の連動性の問題から、直接支援の数はモデル地区守山が初年度に支援した１件と伸び悩んでいる。 以上のように、モデル地区の事業内容によって成果にばらつきがあり、課題はあるが、概ね目標は達成されていると言える。 **アウトカム２「県内の更生保護関係者の「生きづらさ」を抱えた人やその支援の重要性についての理解が深まる。」** 令和３年度中、県内の更生保護関係者向けの理解促進のための研鑽事業等（伝道師による小規模なものも含む）については、新型コロナウイルス感染拡大の問題から実施できなかった。一方、県の協力を得て、県内全域の更生保護関係者に息の長い支援についての意識調査を実施したところ、保護司においては約８９％、更生保護女性会会員においては約９５％が息の長い支援が必要であると感じていることが確認された。モデル地区の事業や取組みを機関紙等で周知したことや意識調査を実施したことで、関係者それぞれが認識していた問題を全体的な共通課題として見える化できたと考えられ、その意義は大きい。 総じて県内の更生保護関係者の意識は高いので、今後は、その意識を具体的な活動につなげていくかが課題と言えるが、モデル地区の更生保護関係者や県更生保護女性連盟等、本事業に実際に参画した組織は、それが起爆剤となり、より活動が活性化した印象であり、事業実施自体は計画通りに進まなかったといえ、成果としては概ね、目標通り得られたと考えられる。 **アウトカム３「保護司会が「生きづらさを抱えた人達」を支援する活動（基盤整備活動を含む）に取り組むようになる（モデル地区活動を開始する）」** コロナの感染者数が完全に減少しているとは言えない状況であることから、モデル地区開拓活動に制約があった他、保護司会のみならず、大半の更生保護団体が新規事業を自粛する動きであり、モデル地区への新規参入の声が聞かれなかった。二年目のモデル地区設置の目標値は、６保護区のところ、結果は、５保護区に留まったため、目標達成は遅れている状態である。

アウトカム４「滋賀県内の各市町関係者及び県民の理解が深まることで、市町において更生保護への具体的な協力が得られる。」

県の財政支援を受け、県民フォーラムを当協会が主催した（youtube の視聴回数は 642 回）が、その中でモデル地区の取組の他、更生保護について県民に理解を深めてもらえるようなエピソード等を披露した。また、県更生保護女性連盟の行事とタイアップし、生きづらさを抱える人たちの存在や更生保護への理解を深めるための川柳を募集したところ、複数の首長の他、県民が参加し約２０００句が集まった。これらのうち優秀作品を日めくりカレンダーにして、県内の子育て関連の施設に本事業及び更生保護の広報ツールとして令和４年度中に配布予定であるが、以上のとおり、県民への理解の促進という意味では、目標を大きく上回る相当の成果があったと認められる。

＜本事業の波及強化＞

本事業は、これまで国の施策ではカバーしきれない犯罪や非行をした人達への息の長い支援が展開できるよう基盤整備を図る事業であるが、各モデル地区の取組が自治体の目にとまり、更生保護団体による息の長い支援に対するバックアップに結びついた。例えば、滋賀県においては、事業協会が主催する県民フォーラムに対する全額助成や知事の出演による更生保護制度への広報、保護司による保護観察終了後の支援に対する助成の予算化が実現した他、県内の更生保護関係者の功労を顕彰するため、知事表彰が新設された。

モデル地区の中には、社会福祉協議会を始めとする関係機関が活動場所や必要物品の提供等の支援を申し出るようになった地区（彦根）や活動に資するための学びの一環として放送大学に足を運び、知見の広がりが期待される地区（大津）等が見受けられ、新たな組織や人との繋がりが始まっている。

また、モデル地区彦根と高島においては、直接支援の事業の参加対象は保護観察対象者等に限定せず、一般住民を対象としているため、SNS を使っての広報や QR コードを使った参加者募集等、新たなツールが積極的に活用され、ICT のスキルが向上していると言える。これらの行事への一般市民の参加者数が一定程度、確保されていることから考えると、ICT の活用は更生保護に関する地域住民の理解の促進に奏功していると言える。

その他、モデル地区大津の活動は、更生保護施設の被保護者及び退所者を主な参加対象としていることから、同施設の被保護者のフォローアップ事業の活性化にも一躍買う等しており、本事業の予想外の大きな波及効果が認められる。

なお、本事業の取り組みは更生保護学会や地域連携協議会でも話題提供され、滋賀県との連携の取り組みと共に全国に発信の機会を得た。

6. 新型コロナウイルス感染拡大に対して、事業活動を行う際に工夫した点

直接的支援を行うモデル地区では、感染拡大を考慮し、参加者の人数制限や実施場所、実施形態（できるだけ戸外で実施可能なものとする、食事の提供は配達方式にする等）を工夫することで乗り切り、大きな成果を上げた。また、一般市民が参加可能な事業については、川柳のように個人が取り組めるような方式にしたり、SNS や QR コードの活用で、より多くの人の興味、関心や参加を得られるような工夫がなされた。

③広報に関する報告

1.　シンボルマークの使用状況
☑自団体のウェブサイトで表示している　　☑広報制作物に表示している ☐報告書に表示している　☑イベント実施時に表示している　☐その他 →「その他」を選択した場合は記載してください（自由記述）：
2.　広報
1.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB 等） “社会を明るくする運動”強調月間において滋賀県更生保護女性連盟の行ったにおのうみ川柳の募集事業について、大津保護観察所長が地元テレビに出演し、広報を行った。 地元テレビ局での県民フォーラムの CM（県が全額支出） 2.広報制作物等 ・におのうみ川柳日めくりレンダー（滋賀県更生保護女性連盟作成） ・「立ち直りを支える地域のチカラ」パンフレット、スタンドパネル（滋賀県更生保護事業協会作成） 3.報告書等 ・モデル地区大津の西成高校への研修報告書 ・モデル地区彦根の各クラブに関するニュースレター等 ・モデル地区高島の子ども食堂チラシ ・滋賀県更生保護事業協会発行機関誌「更生保護びわこ」（県民フォーラムや県の協力を得て実施した保護司等への意識調査結果掲載） ・更生保護女性連盟リーダー研修会資料 大津保護司会の西成高校への研修の報告書 滋賀県更生保護事業協会発行機関誌「更生保護びわこ」（県民フォーラムや県の協力を得て実施した保護司等への意識調査結果掲載） 4.イベント開催等（シンポジウム、フォーラム等） 「立ち直りを支える地域のチカラ」オンライン県民フォーラム

④規程類の整備に関する報告

1.　事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。
☑完了　　□整備中
2.　整備が完了した規程類を web サイト上で広く一般公開していますか。
□全て公開した　□一部未公開　☑未公開 →「一部未公開」「未公開」を選択した場合の理由と公開予定日：　事業協会 HP の改定に伴い、掲載の作業中。令和 4 年 5 月掲載予定
3.　変更があった規程類に関して資金分配団体に報告しましたか。
□はい　　□いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：

⑤ガバナンス・コンプライアンスに関する報告

1.　社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。
☑はい　　□いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
2.　内部通報制度は整備されていますか。
☑はい　　□いいえ →「はい」の場合の設置方法（複数選択可）：□内部に窓口を設置　　□外部に窓口を設置　　☑ JANPIA の窓口を利用
3.　利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。
□はい　　☑いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：現時点で利益相反に該当する事項がない。

4.　関連する規程の定めどおり情報公開を行っていますか
☐はい　　☑いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：HP で公開準備中。
5.　コンプライアンス委員会は定期的に開催されていますか。
☐はい　　☑いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：定期実施はしていないが、必要に応じ開催される体制である。
6.　報告年度の内部監査又は外部監査を実施予定ですか。（実施済みの場合含む）
☐内部監査を実施　　☑外部監査を実施　　☐実施する予定がない →「実施する予定がない」を選択した場合の理由：

添付資料

活動の写真（画像データは 1 枚 2 MG 以下、3～4 枚程度）